

科目区分	専門分野 I	授業科目	基礎看護方法論 I (生活環境、観察、 安全安楽)
講師名	荒井 宇子	実務経験の有無	有
単位数 (時間)	1 単位 (30 時間)	開講年次	1 年次 前期
講義の概要 *講師からの メッセージ	看護活動の基礎となる生活環境調整、観察、安全・安楽に関する看護の基本的な知識・技術・態度を学ぶ。		
<p>目的： 看護技術を提供するために必要な、生活環境調整、観察、安全・安楽に関して、基礎的な知識・技術・態度を身につける。</p> <p>目標： 1) 人間の健康へ生活環境が与える影響を理解し、療養環境を適切に整えるための基本的な知識・技術を身につけることができる。</p> <p>2) 看護における観察の目的を理解し、望ましい療養環境を整えるための観察を行うための基本的な知識を身につけることができる。</p> <p>3) 全ての看護行為の基本要素である安全・安楽の意義について理解し、安全な医療を提供するために必要な基本的な知識を身につけることができる。</p>			
回	時間	講 義 内 容	
1	2	生活環境の意義 (生活環境①)	人間と環境 健康な生活環境 患者の生活環境
2	2	病床環境のアセスメント (生活環境②)	環境調整の意義・目的 快適な病室の環境条件と看護 病棟・病室の構造
3	2	療養環境の整備 (生活環境③)	環境整備・清掃管理について 寝具の特徴と条件 ベッドの構造
4	2	病床の特徴 (演習) (生活環境④)	リネンの取り扱い (たたみ方と広げ方)
5	2	病床の作り方 (生活環境⑤)	ベッドメイキングの種類 オープンベッド・クローズドベッド リネン交換 臥床患者のリネン交換

6	2	ベッドメイキング（演習） （生活環境⑥）	オープンベッドの実際 クローズドベッドの実際
7	2	リネン交換（演習） （生活環境⑦）	臥床患者のリネン交換
8	2	看護における観察 （観察①）	観察の意義と目的 観察に必要な基礎知識
9	2	観察の実際 （観察②）	観察の方法と実際
10	2	記録 （観察③）	記録の意義と目的 看護記録の意義・目的 記録・管理における留意点 看護記録の構成
11	2	報告 （観察④）	報告の意義と目的
12	2	安楽確保の技術 （観察⑤）	身体ケアを通じてもたらされる安楽
13	2	看護における安全・安楽とは （安全・安楽①）	医療安全とは
14	2	安全確保のための技術 （安全・安楽②）	安全確保の基礎知識 安全を脅かす因子を排除する方法 KYTについて
	1	実技チェック	ルーブリック評価の実施
	1	単位認定試験	筆記試験
授業方法		講義 22 時間、演習 6 時間、技術チェック 1 時間	
評価方法		単位認定試験 筆記試験 100 点 1 時間	
テキスト		医学書院：系統看護学講座 専門分野 I，基礎看護技術 I 基礎看護学 ② 第 17 版 医学書院：系統看護学講座 専門分野 I，基礎看護技術 II 基礎看護学 ③ 第 17 版 メディックメディア：看護がみえる vol. 1, 基礎看護技術 第 1 版第 1 刷	
備考			